

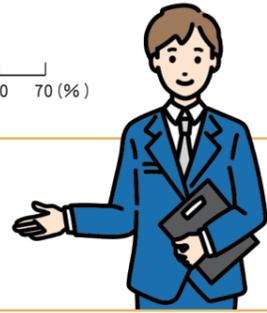
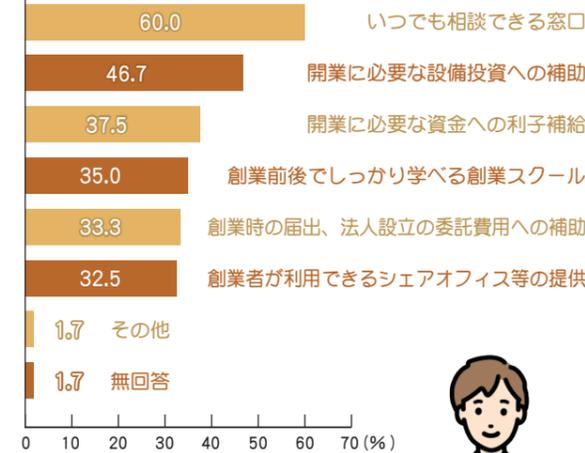
創業意識について

ご自身で事業を営む創業についてどう考えていますか

創業する予定で、事業内容も決めている 既に事業を営んでいる（営んでいた）	3.0%
内容は未定だが、いつかは創業して自分で事業を営 んでみたい	4.9%
今は考えていないが、退職したら考える可能性がある	5.0%
自身が創業する可能性はない（低い）	81.2%
無回答	5.9%

創業について「自身が創業する可能性はない（低い）」と答えた方が多くを占めました。1割を超える方が既に事業を営んでいる（営んでいた）もしくは、今後創業の可能性があると考えています。

あったら良い（良かった）と考える支援策はありますか（あてはまるもの全てを選択）



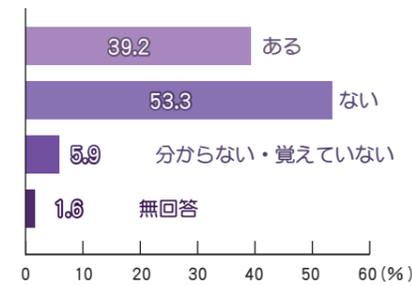
詳しくはこちら



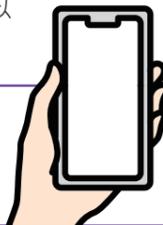
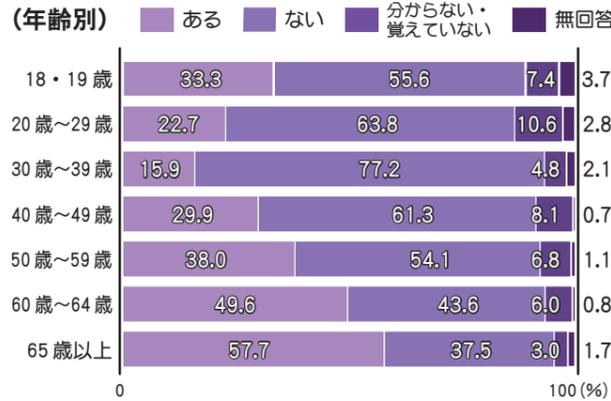
稲沢市では、稲沢商工会議所、祖父江・平和町商工会と連携し、創業前のさまざまな悩み相談や創業後のバックアップなどを行う創業経営支援センター 通称「スタートアップいなざわ」を開設しています。

荻須記念美術館への来館状況について

これまでに、学校の授業等ではなく、プライベートで荻須記念美術館を訪れ、荻須高德画伯の絵画を鑑賞したことがありますか



荻須作品を鑑賞するためにプライベートで来館したことがない方が5割を超えており、年齢別でみると40代以下の世代で「ない」と答えた割合が多くなっています。



若い世代を中心に荻須作品や美術館の魅力を伝えられるよう展示解説を実施するほか、荻須記念美術館 公式TwitterおよびInstagramなどを活用した情報発信を行っています。



▲Twitter



▲Instagram

第26回市政世論調査 概要

目的 市民生活の実態や市民志向の調査、市政や生活環境などの調査を2年に1回行い、データなどの集約・分析によって、現状把握の中から行政施策の立案・実態把握の基礎資料とします

対象者 満18歳以上の市民の方2,500人（無作為抽出）

項目・内容 25項目、選択方式

調査期間 令和4年7月30日～8月15日

調査方法 郵送法（インターネット回答併用）

回収結果 回答人数…1,518人、回収率…60.7%



令和4年8月に市民を対象に市政世論調査を行い、結果をまとめた冊子『第26回市政世論調査 市民のこえ ～調査結果のまとめ～』を作成しました。その中から、一部を抜粋して紹介します。

問合せ先 秘書広報課 ☎32-1126

調査結果をまとめた冊子は、市役所行政情報コーナー、図書館、市のホームページで閲覧することができます。



住みやすさについて

稲沢市を住みやすいところだと感じているかについて、「住みやすい」が53.5%、「住みにくい」が11.8%、「どちらともいえない」が33.7%となっています（図1）。

年齢別でみると「住みやすい」と感じる方の割合が18～49歳では5割を超えており、他の世代と比べて高くなっています（図2）。

また、居住地区別にみると、稲沢・小正・下津地区で「住みやすい」と感じている方の割合が6割を超え高くなっているのに対し、千代田地区では「住みにくい」と感じている方の割合が2割と他の居住地区と比べて高くなっています（図3）。

図1 稲沢市を住みやすいところだと感じますか

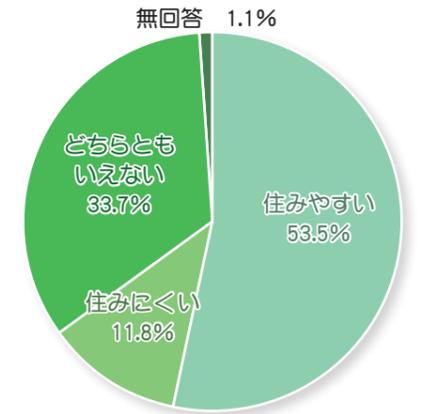


図2 稲沢市を住みやすいところだと感じますか（年齢別）

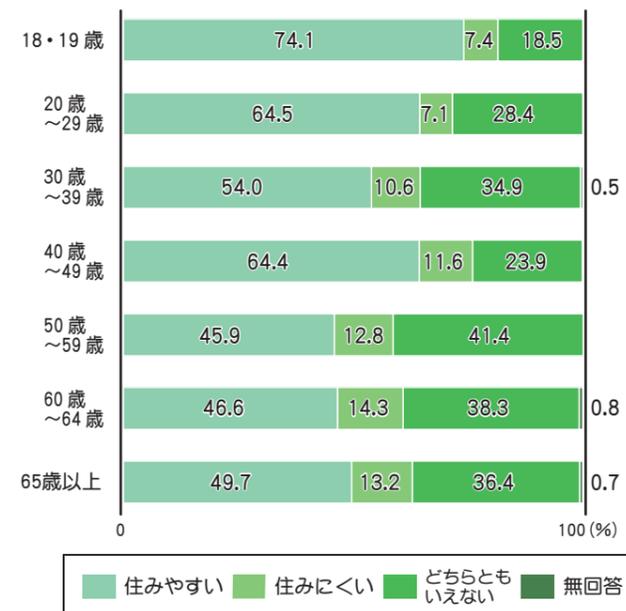


図3 稲沢市を住みやすいところだと感じますか（居住地区別）

